

【事業背景】

- 都留市は、城下町で、織物業を主産業として栄えていたが、織物業から他産業への業態転換が進み、残った織物事業者も後継者不足となっている。
- 織物製品を完成させるために作業の一部を市外に委託するなど、市内で完結した織物製品づくりができていない。
- 市内で製作された製造品によるふるさと納税の寄付増額が課題。

【事業実施者】 一般社団法人まちのtoolbox

【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：  
国費（地域経済循環創造事業交付金）：7,333千円  
地方費：3,667千円
- 山梨県民信用組合による融資：11,000千円

【取組内容】

- 古民家を改修し、都留市が発祥とされる郡内織に関わる人材育成から製造、販売を一貫して行える拠点を整備する。
- 製造した製品については、本拠点及びウェブでの販売のほか、ふるさと納税の返礼品として活用。
- 本施設は、織物のネット販売、ふるさと納税の返礼品としての出品を通し、ITに関わる人材、デザインに関わる人材、デジタルマーケティングに関わる人材なども利用するコワーキングスペースとなる



郡内織の傘



傘づくり教室の様子



都留市ふるさと納税特設ページ

【地域への貢献】

- 後継者不足に悩んでいる織物業の担い手の創出。
- 織物産業の復興に繋がり、織物産業に関わる雇用の創出。
- 製品を通して、郡内織、都留市が認知され、地域の魅力発信、ブランディングに繋がる。
- 産業が活発になり、市内の経済活性化に繋がる。

### 【事業背景】

- 事業実施地は、「どぶろく特区」の認定を受けているが、人口流出、少子高齢化、地域産業の衰退、耕作放棄地の増加、森林の荒廃等集落維持に影響が出始めており、著しく過疎化が進んでいる。
- プラスチックゴミによる生態系への影響が問題視され、環境保全に対する意識が高まっている。
- 酒類はクラフト志向になり、また、海外で日本酒の人気が高まっている。

### 【事業実施者】 Brewing Farmers&Company合同会社

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：

国費（地域経済循環創造事業交付金）：2,166千円

地方費：2,167千円

- 長野県信用組合による融資：4,334千円

### 【取組内容】

- 工場跡地をリフォームし、世界初、エネルギー源の確保から原材料まで全てを自然素材で賄う持続可能な製法の「どぶろく」製造を行う。
- 薪ボイラーを整備し、エネルギー源として、地元産の間伐材を活用。山林保全から水源維持、豊かな土壌に繋げ、良質な米の生産へと環境循環の仕組みを作る。
- 空き店舗を活用して、どぶろくの提供場及びコミュニティスペースとして農家レストランを開業



薪ボイラー



環境保全型農業のイメージ



どぶろく

### 【地域への貢献】

- 「どぶろく」という新たな農産物のブランド化
- 雇用の創出と経済波及効果を生み出す。
- 環境保全型農業を促進させると共に、農家取得の向上
- 交流人口の創出、移住者の増加により過疎解消へ繋げる。

# ローカル10,000プロジェクト 島根県松江市 「歴史文化の港町・美保関の古民家を活用した宿泊施設と レトロなBAR整備事業」

平成30年度採択

## 【事業背景】

- 海運・観光の拠点として繁栄した美保関は人口減少、高齢化、旅行形態の変化等により当時の賑わいが失われた。
- 歴史的建造物や神話などの魅力的な観光資源を有するが、観光客が伸び悩んでいる。
- 地域に空き家となった古民家が点在している。

## 【事業実施者】 美保館

## 【自治体・金融機関の支援内容】

- 国費（地域経済循環創造事業交付金）：19,000千円
- 山陰合同銀行による融資額：19,000千円

## 【取組内容】

### ○観光拠点整備

- ・3軒の古民家を、インバウンドや企業・大学の合宿にも対応できる宿泊施設にリノベーション。
- ・また、既存の宿泊施設に半露天風呂、宴会や朝食会場として利用する国登録文化財に夜の交流の場となるバーを新設。

### ○観光拠点活用

- ・これらの施設を「交流の場」「観光情報発信の場」「地元住民の発表の場（民謡、ジャズ、アート）」などとして活用

## 【地域への貢献】

- 施設の一棟貸の需要増や修学旅行の受入れを行うことで、周辺観光地への誘導がなされ、地域への観光客増・観光消費額の増に繋がっている。
- 交流の場を設けることで、地元住民と観光客の交流が生まれ、賑わいが創出されている。
- 歴史的建造物・古民家を活用し、空き家の解消、歴史的建造物群が廃れるのを防いでいる。



【事業背景】

- 宿泊施設、飲食店等が少なく滞在時間が少ないため、観光消費額が少ない。
- 埋もれた地域資源（古民家）が多数存在するが、これらの資源を発掘・活用・維持管理できていない。
- 雇用先がなく、就職等で人口が流出し、若者の地元離れが起きている。

【事業実施者】 株式会社MIMAチャレンジ

【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：  
（国費（地域経済循環創造事業交付金）：37,900千円  
地方費：0円）
- 阿波銀行による融資：77,000千円

【取組内容】

- 重要伝統的建造物群保存地区である「うだつの町並み」内にある空き家（古民家）を取得、開発し、歴史的な町並みに溶け込むように宿泊施設・飲食店を整備し、観光客の増加や地域産業の活性化を図る。
- 飲食店についてはイタリアンを主とした業態で、全国的に有名なスターシェフが監督し、地元の食材を活かした限定メニューを考案し、発信する。

【地域への貢献】

- 宿泊型観光客の増加、滞在時間の増加による観光消費額の増加
- 歴史的資源（古民家）の活用・景観保全
- にぎわいと雇用の創出
- 移住者増加による地域の活性化



うだつの町並み



改修対象施設



改修後



### 【事業背景】

- コロナ禍で養殖ぶりの販売が停滞。浜値以下での販売にもなり、水産業を基幹産業とする町の経済に大きな影響を与えている。
- コロナ禍によりお茶の需要が伸びず、価格が低迷している。また、日本屈指のお茶産地でありながら「原料供給県」に甘んじている。
- コロナ禍による巣ごもり需要が拡大し、手間を掛けずに食べられる商品の需要やインターネットによる販売が拡大しているが、それに対応できていない。

### 【事業実施者】 株式会社 夢ながしま

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：23,500千円
- 国費（地域経済循環創造事業交付金）：17,625千円
- 地方費：5,875千円
- 鹿児島信用金庫による融資：25,000千円
- 【初期投資】水産加工場建設のための施設整備費など

### 【取組内容】

- 餌に地元産のお茶を混ぜることで茶カテキンの抗酸化効果により、色変わりや鮮度感に優れた、魚の生臭さがない「茶ぶり」「茶鯛」「緑茶カンパチ」の加工場を整備。
- 1/4カットや煮つけ用頭やアラのカットなど、コロナ禍による巣ごもり需要を見据えた一般家庭の消費者に向け商品に加工し販売。さらには、輸出に適合した商品を生産し、海外への販路拡大も目指す。
- 新たな養殖魚へチャレンジしようとしている若い世代に、製造ノウハウや加工行程の情報共有も実施。



茶ぶり商品



加工場の様子

### 【地域への貢献】

- 鹿児島大学農学部や地元金融機関との連携を通じ、生産量日本一の強みを生かした、新たなブランドを構築。
- インターネット販売や海外への輸出など新たな市場を開拓することで、地域活性化を図る。
- 若い世代が取り組む新たな養殖魚の商品化や販売に積極的に協力し、水産業の後継者育成に貢献。

### 【事業背景】

- 人口減少や少子高齢化・空き家の増加に直面しており、かつての活気が急速に失われつつある。
- 城下町の風情が色濃く残るエリアにおいても歴史的建造物が空き家となっており、景観の維持にも支障が生じるリスクが高まっている。
- 人口減少や高齢化がさらに加速化する悪循環に陥り、地域の活力が失われていくことが懸念されている。

### 【事業実施者】 備中松山社中 合同会社

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：  
（国費（地域経済循環創造事業交付金）：16,666千円  
地方費：8,334千円）
- 中国銀行による融資：25,000千円

### 【取組内容】

- 城下町の観光中心エリアで空き家となっていた歴史的な古民家を魅力的な宿泊施設として再生し、城下町の佇まいの保存と継承を図りながら、観光振興や交流人口の拡大を図る。
- 本宿泊施設を『お試し移住』『お試しサテライト』『ワーケーション』施設として一棟貸しをすることによって、高梁市を移住先候補地としてPRする。
- 宿泊施設の一部店舗では、「ジャパンレッド」のベンガラ染め体験やオリジナル製品（クラフトビールなど）の購入もできる観光拠点とする。

### 【地域への貢献】

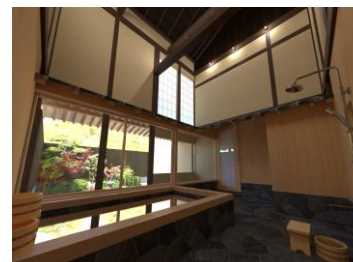
- 宿泊型観光客の増加
- 観光資源を新たな交流拠点として機能させ、関係人口・交流人口の増加に寄与し、経済的に波及効果をもたらす。
- 観光資源の掘り起こしとネットワーク化が図られ、にぎわい創出に繋がる。
- 移住定住の促進



改修対象施設



改修後イメージ



### 【事業背景】

- 酪農業が主産業で、製造業は村営チーズ工場など零細なものに止まっており、様々な職種をカバーする雇用の受け皿が不足している。
- 人口減少、少子高齢化の進展により、中心市街地の店舗が減少。街の賑わいが減退し、隣接都市へ日用品の購買や飲食の流失により、地域経済が循環していない。
- クラフトビールのブームにより、全国に数多くのブルワリーが誕生しているが、ビール醸造を学ぶ場所がなく醸造技術を持つ人材が不足している。

### 【事業実施者】 株式会社 Knot

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：  
（国費（地域経済循環創造事業交付金）：26,250千円  
地方費：8,750千円）
- 釧路信用金庫による融資：30,000千円
- 釧路信用組合による融資：25,000千円

### 【取組内容】

- 民間企業を誘致し、人口減少に伴い廃校となった小学校の体育館内にクラフトブルワリーを整備する。
- ブルワリーには物販や見学スペースを設け、観光客やビール醸造を学びたい人々を受け入れ、人々が交流できる場所とする。
- クラフトビールを地域資源である清らかな水やブドウなどを利用して醸造し、新たな特産品・観光資源として活用する。



旧茂雪裡小学校



体育館



ブルワリーイメージ

### 【地域への貢献】

- 地元で新たな職業の選択肢と雇用の受け皿が創出される。
- ビール醸造を学びに訪れる者の人流の発生で関係人口が増加、観光資源を楽しむ人々で交流人口が増加、工場への雇用により定住人口が増加するなど新たな交流により街の賑わいが創出される。
- 地域消費が高まり、地域経済が循環される。

【事業背景】

- 丹波地域は、阪神間からのアクセスが良く、移住ニーズの高まりが見られる。
- 就業や地域コミュニティへの参加など、移住し、地域で生活していくためのスキル習得のための長期滞在に、費用がかさむ。
- 丹波焼や丹波布など、地域の伝統的な文化的資源を活かしたもののづくりの後継者が不足している。

【事業実施者】 株式会社小谷木材店

【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：  
（国費（地域経済循環創造事業交付金）：5,000千円  
地方費：5,000千円）
- 中兵庫信用金庫による融資：10,000千円

【取組内容】

- 古民家を改修し、移住・起業目的の方に安価で長期滞在ができるWEEKLYSTAYの場を提供
- 同施設内に不動産・就労情報の提供や地域住民と移住希望者の交流の場となるカフェスペースを整備し、地域農産品を利用したスイーツ等を提供
- 若者のものづくりの担い手育成を目的に、同施設内に新規事業者のための工芸品・農産加工品の販売所を整備

【地域への貢献】

- 丹波地域へのスムーズな移住が可能となる。
- ものづくりの後継者の育成が進み、丹波焼や丹波布といった伝統的な文化的資源を守ることができる。
- 空き家の活用及び地元雇用の機会の増加



移住希望者の交流イメージ



地域農産品を利用したカフェイメージ



伝統的なものづくりイメージ(丹波焼・丹波布)



### 【事業背景】

- 若者の都市部への流出が続いており、全国水準を上回る人口減少が進んでいる。
- 豊富な森林資源があるが、活用がされておらず、地域活性化を進める中で活用を模索する必要がある。
- 少子化の進行を背景に、利用されなくなった校舎等など、多数の遊休資産を有しており、取壊しなども検討しているが、費用負担が大きく、活用の促進を検討する必要がある。

### 【事業実施者】 新見ファーム合同会社

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 公費による交付額：
  - 国費（地域経済循環創造事業交付金）：16,000千円
  - 地方費：8,000千円
- トマト銀行による融資：12,000千円
- 備北信用金庫による融資：12,000千円

### 【取組内容】

- 廃校となった遊休資産を改修整備し、IT技術を活用したきくらげの生産事業を実施
- コンピューター制御により温度・湿度・水分管理が可能な栽培室を設け、黒きくらげ、白きくらげの通年菌床栽培を行う。
- 生産したきくらげは、個人消費者や外食産業事業者へ生食用として販売するほか、乾燥加工し、外食産業事業者、食品加工事業者等へ販売する。



栽培イメージ



活用した遊休資産



コンピューター制御による管理の様子

### 【地域への貢献】

- 地元で生物生産の知識を学ぶ県立高校があり、地元高校生の職業選択肢の1つになる。
- 木材資源の利用拡大につながり、林業の収益性向上に資する。
- 体力的負担が少ない作業が中心で、体力的に不安がある方の雇用に寄与する。
- 遊休資産の有効利用

### 【事業背景】

- 地球温暖化により、猛暑が続くようになり、品質・収穫に与える影響が大きくなったため、断熱対策だけでなく、冷房設備の導入が必要
- ハウス内CO<sub>2</sub>濃度の調整について、生産者の経験と勘により換気調整を行っていたが、生産量が安定せず、作業環境にも影響が出る。
- 東日本大震災の影響で、設備倒壊等による生産不能、福島第一原発の事故による風評被害による価格の下落が見られる。

### 【事業実施者】 有限会社 越戸きのこ園

### 【自治体・金融機関の支援内容】

- 国費（地域経済循環創造事業交付金）：40,000千円
- みちのく銀行による融資：57,505千円

### 【取組内容】

- ICTを活用したハウス内温度、湿度、CO<sub>2</sub>濃度等の監視制御システム及び低コスト高断熱ハウスを導入し、全国に例のない菌床しいたけ栽培技術確立するとともに、地域生産者への普及、しいたけの一大産地化を図る。
- 久慈地域の木材の残材等を活用した木質バイオマスエネルギーによる熱供給を受けることにより、化石燃料価格の変動に左右されない安定した経営と環境負荷の低減、エネルギーの地産地消による地域経済循環システム構築の実現を図る。



導入したハウス



菌床しいたけ生産の様子①



菌床しいたけ生産の様子②

### 【地域への貢献】

- 菌床しいたけの生産量増加と安定供給
- 久慈地域のしいたけブランド力の向上
- 新規雇用の創出
- 木質バイオマスエネルギーの導入による未利用材の活用